

*** 参加申込の締切を6月26日（金）まで延長いたしました。**

平成27年度植物感染生理談話会のご案内

日本植物病理学会平成27年度植物感染生理談話会を下記の通り開催致しますのでご案内申し上げます。
万障お繰り合わせの上、奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

会期：平成27年8月24日（月）13:30～8月26日12:00

会場および宿泊：道後温泉 メルパルク松山

〒790-0858 愛媛県松山市道後姫塚123-2

TEL：089-945-6411(代) FAX：089-945-6186

<http://www.mielparque.jp/matsuyama/>

今年の植物感染生理談話会は四国、愛媛県の道後温泉において開催します。本年も植物病理学をリードする先生方を講師にお招きし、先生方ならではの視点から宿主-微生物相互作用の最新知見をお話ししていただける予定です。さまざまな病原微生物や宿主応答システムについて学習できるよい機会ですので、ポストドクや学生の方々のご参加も歓迎いたします。併せて共同研究の打ち合わせにもご利用ください。

テーマ：「感染と 防御をめぐる 新潮流」

プログラム（予定）：講演者のみ氏名を記載しました。演題及び時間は変更される可能性もあります。

8月24日（月）

12:30～13:30 受付

13:30～13:40 開会の辞

第一部 病原性の機能と制御

13:45～14:15 瀧川 雄一（静岡大学）

植物病原細菌 *Pantoea ananatis* の病原性について

14:15～14:45 曳地 康史（高知大学）

青枯病菌のバイオフィルム形成機構とその病原性への役割

14:45～15:15 大島 研郎（法政大学）

ファイトプラズマによる病徴誘導の分子メカニズム

15:15～15:30 休憩

15:30～16:00 八丈野 孝（愛媛大学）

うどんこ病菌の付着器分泌タンパク質とエフェクターの機能解析

16:00～16:30 齋藤 宏昌（公益財団法人 岩手生物工学研究センター）

エフェクター分泌によるいもち病菌の感染および抵抗性誘導機構

16:30～16:50 休憩

特別講演

16:50～17:30 高山 弘太郎（愛媛大学）

太陽光植物工場の知能化に向けた高精度生体情報計測

[17:30～18:00 「愛媛県におけるキウイフルーツかいよう病の発生状況（仮）」 調整中]

19:00～21:00 懇親会

8月25日(火)

第二部 感染のシグナルと応答

9:00～9:30 山口 公志(近畿大学)

エフェクターの宿主標的因子を利用した植物免疫シグナル伝達経路の解析

9:30～10:00 能年 義輝(岡山大学)

植物免疫ケミカルバイオロジー研究と病害防除への多様な応用展開

10:00～10:30 高辻 博志(独立行政法人 農業生物資源研究所)

環境ストレスが病害抵抗性におよぼすトレードオフの分子機構

10:30～10:45 休憩

10:45～11:15 藤田 泰成(独立行政法人 国際農林水産業研究センター)

病気が干ばつか? 環境ストレス応答出力を決める分子機構

11:15～11:45 竹田 篤史(立命館大学)

植物ウイルス由来 siRNA の役割とは?

12:00～13:30 昼食/幹事会

14:00～17:00 フリータイム/研究打ち合わせ/エクスカージョン

18:00～19:00 夕食

19:30～21:00 ポスターセッション/イブニングディスカッション

8月26日(水)

第三部 ゲノムの発現と進化

9:00～9:30 中屋敷 均(神戸大学)

いもち病菌ゲノムのエピジェネティックな遺伝子制御

9:30～10:00 吉田 健太郎(神戸大学)

植物病原菌と宿主のゲノムから探る攻防の歴史と相互作用因子

10:00～10:15 休憩

10:15～10:45 近藤 秀樹(岡山大学)

宿主ゲノム上に存在する RNA ウイルス感染記録を紐解く

10:45～11:15 宮下脩平(独立行政法人 農業生物資源研究所)

実験とシミュレーションで迫る、植物ウイルスの生態 ～分子から進化まで～

11:15～11:30 休憩

11:30～12:00 総合討論, 表彰式, 閉会の辞

ポスター発表:

大学院生・ポスドクなど若い研究者のプレゼンテーション能力を養うとともに、参加者間の交流を深める目的で、ポスター発表(8月25日夜)を企画致しますので、積極的に申し込み下さい。ポスター優秀発表者に賞を設けます。発表を希望される方は下記の要領で申し込み下さい。

○申し込み・要旨作成上のご注意

発表要旨集は当日配布致します。タイトル, 発表者, 所属, 要旨(600字程度, 英文の場合は160語程度)にまとめ、MS-WORD(.doc)ファイルとして7月24日(金)までに、yaeno@agr.ehime-u.ac.jp(愛

媛大学・八丈野 孝) あてに E-mail でお送り下さい。なお、会場スペースの都合上、展示可能なポスター数には限りがございます。展示可能なポスター数を超える申し込みがあった場合、期限前に受付を終了させていただくこともございます。悪しからず、ご了解ください。

○ポスター作成方法

ポスターは A0 サイズ (840×1188mm, 縦長) 1 枚でご用意下さい。当日「ポスター番号」を表示しますので、ポスター左上部に 100×100mm のスペースをあけた形で、タイトル・発表者・所属を上部に表示して下さい。会場には接着用具などを準備致します。8 月 25 日 19:30～21:00 に各ポスターの前で説明をしていただく予定です。

参加申込み：

参加申し込みは先着 120 名までとさせていただきます。綴じ込みの払込取扱票に必要事項を記入し、**平成 27 年 6 月 26 日 (金) までに** 26,000 円をご送金下さい。内訳は、参加費 (講演要旨集 1 部を含む) 6,000 円、懇親会費 5,300 円および宿泊費 14,700 円です。なお、講演要旨集を更にご希望の方は 1 部 3,000 円となります。

払込取扱票による送金をもって談話会参加の申込みとします。整理の都合上、払込取扱票は参加者 1 名ごとに 1 枚をお使い下さい。払込取扱票がさらに必要な場合は、事務局にご請求下さい。7 月中旬頃、講演要旨集とともに入金確認のお知らせを郵送させていただく予定です。払込取扱票には部屋割り等のため、男女の別、所属、住所、E-mail アドレスもご記入下さい。

会場は交通至便な場所にありますので、今年は送迎バス等の手配は予定しておりません。公共交通機関等をご利用ください。

原則として全員宿泊、懇親会も全員参加とさせていただきます。部屋は会議・研修特別パック利用のため、相部屋 (5～8 名) となります (部屋割りは事務局に一任いただきます)。

交通機関：

【JR を利用される場合】

JR 松山駅から路面電車で約 25 分 (片道 160 円)。「道後温泉行」にご乗車ください。

【飛行機を利用される場合】

松山空港からリムジンバスで約 45 分 (片道 460 円)。「道後温泉行」にご乗車ください。

【小倉・広島・呉から船をご利用の場合】

：松山観光港からリムジンバスで約 40 分 (片道 620 円)。「道後温泉行」にご乗車ください。

【車をご利用の場合】

しまなみ海道 (西瀬戸自動車道) 今治インターから約 60 分

松山自動車道 松山インターから約 20 分

平成 27 年度植物感染生理談話会事務局：

〒790-8566 愛媛県松山市樽味 3-5-7 愛媛大学農学部

西口正通・山岡直人・小林括平・八丈野孝

連絡先 (小林括平：TEL 089-946-9868 FAX 089-946-9868 Email kappei@ehime-u.ac.jp)